

別記様式（第7条関係）

会 議 録

- 1 会議の名称 第11回富士川町新中学校開校検討委員会
- 2 会議の時間 令和6年11月18日（月） 午後7時から午後7時45分
- 3 開催場所 富士川町役場 2階会議室
- 4 出席者数

(1) 教育長	
(2) 委 員	14名（欠席者7名）
(3) 副部長	1名（総務部会）
(4) 事務局	4名
(5) 傍聴者	4名
- 5 協議事項
(1) 校章、閉校式、開校式について（総務部会提案）
- 6 会議資料の名称 別添のとおり
- 7 発言の内容
 - 1 開会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1) 校章、閉校式、開校式について（総務部会提案）

委員長 : 総務部会から提案されるが、総務部会部長が欠席のため、副部長から提案する。

※総務部会副部長が資料を基に、校章、閉校式、開校式について説明

①校章について

総務副部長 : 各校章デザインの趣旨も考慮し、検討委員会において投票を行ってほしい。

委員 : 校章の色はあるか。また、このデザインがこのままか、専門家による調整等があるのか。

事務局 : 色については、本日一点に選んだ作品を教育委員会の定例会で提案し、決定を

したら、作者と打ち合わせの上、色は決定する。それからデザインの補正を行い完成する。

委員長 : 非常にいいデザインだとは思いますが、例えば制服のエムブレム、バッチ、ボタンのデザインにこれが採用されることになるのか。

事務局 : 制服のエムブレムや、バッチは地域部会、制服を作成する業者と打ち合わせして、別のエムブレムとボタンを作成している。校章は校旗や、封筒に印字するなど、そういった場合に使う形になる。

委員長 : 子どもたちから集まったデザインを基に、子どもたちのアンケート結果が出ている。一番多かったのは、No.2である。私からも質問がある。中学校の「中」という文字は、特に入っていないが、それはどうなのか。

事務局 : 他のいろんなデザイン等も見たとこ、昔は「中」や「小」という文字が入っていたが、最近はそのような文字も入れないところも結構多くあり、今回は、ないものをデザインとしてあるが、それで適用できるものと考えている。

委員長 : 委員の中で、もう大体これと決めていると思うが、どうだ。子どもたちの意見を尊重するデザインを見て、これの方がいいと思うものがあるか。なお、専門家の補正は入るため、精査されたものになると思う。子どもたちの意見も聞く中でNo.2でいいか。反対の意見があるか。よろしければ挙手を願いたい。

委員 : (挙手多数)

委員長 : 校章については、No.2ということで、教育委員会で提案していただきたいと思う。

②閉校式

委員 : 閉校式、開校式の参加者について、今後最終的に決定するということだが、ぜひとも保護者を参加させてほしいと思う。過去の検討委員会の中でも話をした通り、私も増穂中学校の卒業生であり、保護者の中にも増穂中学校、鰻沢中学校の卒業生もいると思うので、ぜひとも参加したいという意見である。

事務局 : 保護者の参加をお願いしたいという意見は、他の方からもそういった意見はある。ただ、会場の席数に限りがあるため、来賓の方、参加者、生徒ももちろん入る。そのいった中で、いくつ席が余るのかというのを、今調整している。保護者が入れるかどうかは、今後また学校との調整をしていくが、今の時点で保護者も入れるという回答はできかねるので、了承いただきたい。

委員長 : 増穂中学校、鰻沢中学校は歴史のある学校なので閉校という情報はものすごく広がっており、承知している方々がたくさんいる。私も地域の方から、鰻沢中学校の閉校式に参加できるのかという、そういう声を何人から聞いている。そこら辺も今、事務局が言ったように、会場のキャパの問題もあったりするので、不透明なことだと思うが、そこらへんをどのような形で明らかになり、時期的

にどういふふうな形でアナウンスされるのか、そこら辺は何か考えはあるのか。

事務局 : この閉校式、開校式の情報の開示という形になるが、今日の検討委員会の内容で議決されれば、来週の教育委員会の定例会で、提案をしていきたいと考えている。定例会で協議が整ったら、その後広報で保護者や一般の方が参加できるような部分について情報を開示していきたいと考えている。先ほども話をしたとおり、閉校式については席数に限りがあるということで、一般に自由参加ということができないという状況である。その代わりに、閉校式の一部、二部が終了をした後、学校開放をし、一般の皆様、多くの皆様に学校を見ていただきたいというふうを考えており、その辺の周知をしたいと考えている。また、実際に式を見れないという方が多いと思い、富士川 CATV などに依頼をして、放送できるような形をとっていただけるといふふうと考えている。

委員 : はくばく文化ホールで行うのか、増穂中学校の体育館にするのか、非常に迷って事務局に何度も相談した。参加者等に関しては、4月、5月の段階で、もう案内を出してるので、今から変えることは厳しいと思っている。もし体育館でやるにしたら、はくばく文化ホールよりキャパはあるが、発表、椅子の準備とかを考えると、保護者も入れて全校生徒も入れて、その段階で280人になる、保護者1名とした場合だが。増穂中学校としては、地域の方々にも来ていただいて、グラウンドなんて考えていたが、そこも雨が降ったら、いろんな条件があつて厳しいので、歴代の校長先生方、歴代 PTA 会長、歴代の生徒会長も、要するに同窓会という組織がある。その方々に地域の代表で集ってもらい、生徒抜きであれば、保護者の方々に入ってもらい、地域の方々も入ってもらえるが、生徒抜きはなかなか閉校式ではないみたいなので、そこは280人以上の大規模校の閉校という例がなかなかない。そこはさっき言ったように1学期の段階から、もう事務局に相談をかけて、はくばく文化ホールでやると、キャパ500人しかないという中で、もう第一次案内案も出しているため、本当に先ほどの意見はありがたいが、申し訳ないが保護者の入るスペースは現時点ではないと、事務局の方から言った方が、誠意があるというふう考えた。僭越ながら発言した。

委員長 : いろんな事情があるかと思うが、参加者、来賓等については学校と協議の上で最終決定するというので、まだ未定な部分もあるかと思う。

委員 : もう一度発言する。語弊があつて、うまく説明できないが、資料の「上記の内容」については、ぜひ事務局に相談に乗ってほしい。何回も PTA の方々にも相談をしていただいて、何とかここまで内容を出したが、これもかなり変更する可能性がある。今になって、いろんなことを考えてやろうとしても無理という意見が職員から出てきており、非常に困っている。また事務局から指導いた

だければと思う。ただ参加者については、第一次案内も出ている。第一次案内がでていているということは、この上で協議して最終決定ということは、私はちょっとないと思うが、その点について返答お願いしたい。

事務局 : 第一次案内も出ているということで、「上記の内容」については学校と協議の上最終決定をするという形でよいか。内容については先ほど言われた通り、時間的な制限もある中で決めていかなければならないということであるため、変更等があり得るということで今後も事務局と学校の方で調整をしていきたいと考えている。

委員 : お願いしたい。

委員長 : まだまだ未定な部分があったと思うが、「上記の内容」は全ての内容だと思う。こういうふうな流れで閉校会を進んでいくということの理解でいいか。それでは、閉校式については、今の議論の中で、大体イメージがつかめたと思うが、あとのところは学校と事務局でしっかり話し合っただけ進めていただければというふうに思うがいいか。

委員長 : ちょっと気になったが増穂中学校には記念品贈呈があるが、鰯沢中学校にはその項目がないが、その辺はどうゆうことか。

委員 : 第1部の内容については、この間自分も提案を見させていただいたとき、中学校の違いがあるので、本日ちょっと精査をさせていただければというふうに思うので、事務局と相談をしながら、形を作っていきたいと思っている。記念品も鰯沢中学校は出すので、その辺も披露するかどうかは、もう少し一体感を持った方がいいならば、その辺を受けながら鰯沢中学校の中身については精査をしていきたいというふうに考えている。

委員長 : もしかしたら付け加えられる可能性が高いというふうなことである。

委員 : 私もなるべく大勢の方に、閉校式に出れたら嬉しいと思っているが、さっき話を聞いたとおり、無理があるので、それ以上は言わないが、ただ終わった後で学校開放を行う。これは誰でも参加できるのか。それならば、周知徹底をどういうふうにしていくのかを伺いたい。

事務局 : 先ほど話をしたとおり、今後、教育委員会の定例会に提案をし、広報や、LINEを使って周知をしていく形になる。

③開校式

委員 : 校歌披露が4月下旬から5月中旬ということで、式典の中で披露されるが、校歌自体の歌詞はいつぐらいにわかるのか。

事務局 : 校歌は、以前、江宮隆之先生作詞、池田綾子先生作曲で提案をしたが、そちらについては教育委員会の定例会の方でも了承を得て、その後、江宮先生、池田先生に依頼をしたが、今製作に取りかかっているところである。当初、期限は

2月を予定していたが、江宮先生、池田先生がもっと早く仕上げたいということで、なるべく12月、1月で仕上げたいと聞いた。必ずそこでできるかということは明言できないが、両先生ともに努力していただいている。

- 委員長 : 12月、1月には出来上がるということで、そうすると練習も可能となる。
- 事務局 : 実際に練習は、3月までに中学生が卒業式を控えておるので、そちらの練習の方がメインになってくると思う。校歌の練習は、年度明けてから練習をして、おおむね1ヶ月あれば披露できるような形になると思う。こちらは、学校運営部会で今、年間行事予定を詰めているところだが、年間行事予定を見ながら生徒の活動も考え、この4月下旬、5月中旬辺りで披露できればということで式典の中で披露をしていきたいと進めている。
- 委員 : 記念式典で初めて校歌が披露されて、唄わないということか。例えば、入学式で、校歌はつきものだが、そこでは唄わないという、今は考えか。
- 事務局 : 入学式は、実際に富士川中学校を開校して学校運営をしていく中での式典になると思うので、学校運営部会と調整をする。また、学校の方とも相談をし、どういう形で披露するのか披露しないのか、その辺を検討させていただければと考えている。
- 委員長 : 私も必ず始業式には校歌を唄うのが流れになっているように思うが、例えばテープで流すとか、そのようなことは可能か。
- 事務局 : 今、校歌の話もしたが、そちらについてCDも作成をする予定である。なので校歌はまだ上手に唄えないが、CDの演奏ができるという形もできる。その辺のことも踏まえて検討していきたいと考えている。
- 委員長 : 閉校式、開校式についてはよいか。よければ、こういう流れで、まだ変更点が出てくるかもしれないが、おおよそこういうふうな流れで、閉校式、開校式が行われると、具体的なことについてはもう少し詰める必要もあるかもしれないが、こういう流れで教育委員会に提案することでいいか。よろしければ挙手をお願いしたいと思う。
- 委員 : (一同、挙手)

4 その他

- 事務局 : 先ほどの結果についての再確認をする。校章については、資料で見ていただいたNo.2を検討委員会として提案をする。そして、閉校式について、内容は教育委員会と今後も精査をして、最終決定をするという形に文面の変更を考えている。開校式については、こちらの方で提案した通りの内容で、定例会の方で上げると考えている。教育委員会の定例会は、11月25日の月曜日になる。ここで協議をし、決定という形になる。
- 委員長 : 学校運営部会から提案される内容は、本当は校長先生が学校で検討する中で、

教育委員会と協議して決めるような内容が多いが、まだ新中学校の校長先生が決まっていないのでこういうところで提案を受けてやっていくということ
でいいのか。

委員長 : 学校運営部会の検討項目は、学校の教育目標、教育課程、各種交流行事が検討
の主な題材となっている。教育目標は、それを含む経営案という形で検討委員
会に提案をし、教育委員会の定例会にも提案をした。今現在、年間の行事予定、
日課表など調整しているが、そちらは学校の先生と今調整を進めているところ
である。いずれにしてもこの検討委員会で報告に近いような形になると思
う。実際には学校の校長が決めて運営をしていくという内容だが、本来であれば
校長先生という形になるけども、まだ富士川中学校の校長先生がいないとい
う中で進めているので、今、学校運営部会を中心に決めている。そのため、
検討委員会で協議をするという形よりは、こういう形で進めていきたいと、報
告的な形になろうかと考えている。

教育長 : 今夜は、忙しい中、仕事でお疲れの中お集まりいただき、本当にありがたい。
また真剣な討議もありがたい。町政15周年の山車巡行祭、非常に盛大に行われ、
その土台を支えてくれたのが両中学校の子どもたちである。鰍沢ばやしで
本当に祭りの雰囲気高め、伝統を引き継いだ鰍沢中学校の子どもたち、また、
増穂中学校の子どもたちが吹奏楽の演奏で、みんなの心を本当に楽しませ、会
場を盛り上げた。また、この前行われた、甲州富士川まつりの駅伝大会には、
増穂中学校からはいくつかのチームで子供たちが出てくれた。鰍沢中学校で
もチームを編成して出た。また、先生もそれを盛り上げるように、自らレース
に出て、駅伝大会を大変盛り上げて、大変素晴らしい大会にしてくれた。鰍沢
中学校、増穂中学校の子どもたちが、この両校のまさに輝かしき歴史と伝統を
閉まっていく役割を担うため、今、子どもたちが一生懸命頑張っていて、素晴らし
い閉校式にしている。また、新たな門出に向けて必死に頑張っている。そうい
う中で委員の方がこうやって本当に真剣に話し合っていることを心から感謝
申し上げたいと思う。これからも、良好の子どもたち、または小学校の子ども
たちもそれをしっかり支えている。また、先生方が必死に頑張っている。普通
の年でも大変なのに、これで閉校、開校というふうな形の中で、非常に忙しい
日々を過ごしていると思う。これまでもそうだが、地域で盛り上げ、この大き
な取り組みをみんなで成功させて、子どもたちに明るい未来をぜひとも授け
ていただきたいと切に願い、私からのお願いとさせていただきますと思う。

※富士川中学校の制服、体操服の展示をし、委員の方が見物した